

経営比較分析表（令和6年度決算）

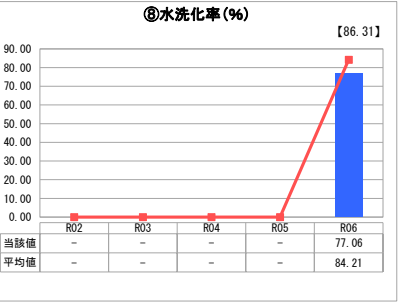
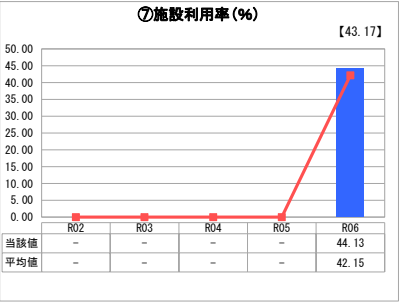
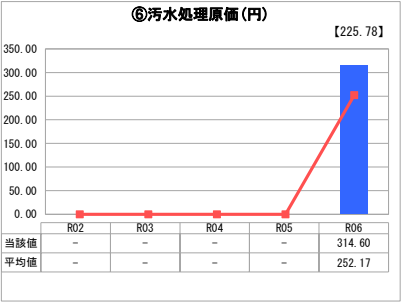
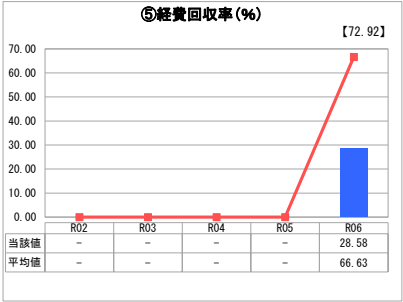
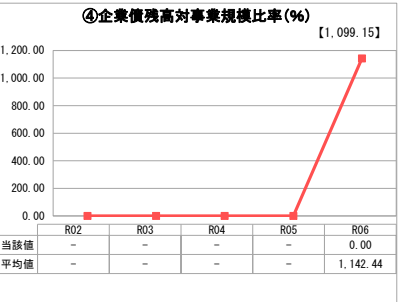
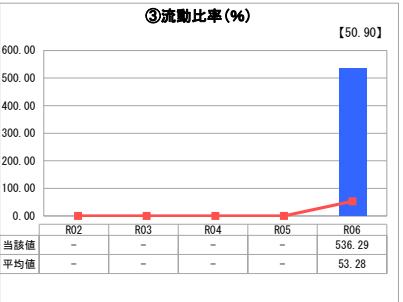
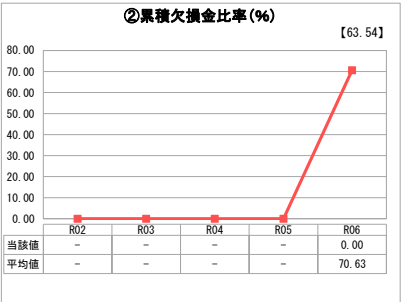
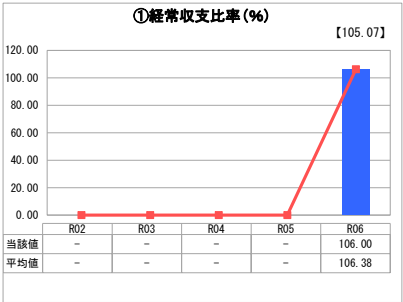
群馬県 長野原町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	99.80	48.27	80.06	2,200

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,082	133.85	37.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,419	2.37	1,020.68

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は当該値100%を超えており、今後も費用削減や適切な設備更新投資に留意していきます。

②累積欠損金は0%ですが、今後も欠損金の防止に努めることと、設備に対する維持管理費増加への対応等、将来を見据えた取組が必要と考えます。

③流動比率については、類似団体平均値を大きく上回っており今後も維持していくことに努めます。

④企業債残高はありませんが、使用料だけでは賄えない部分を一般会計からの補助金で補填し事業を実施している状況です。

⑤経費回収率は類似団体の平均値を下回りましたが、施設・設備修繕費等の増減に伴う変動があるものの、使用料に大きな変動はありません。料金滞納者への対応の見直しや、費用削減等により改善に努めます。

⑥汚水処理原価は類似団体の平均値を上回る水準であることから引き続き接続率の向上の検討を行います。

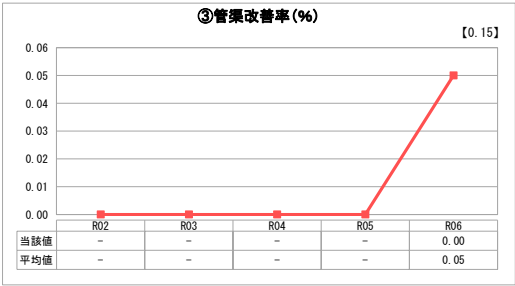
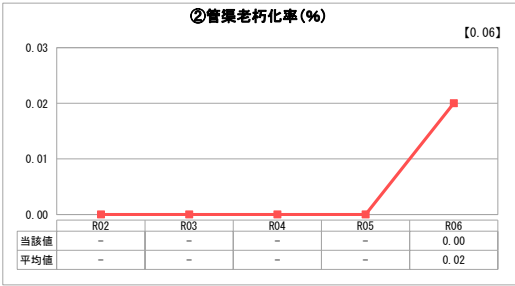
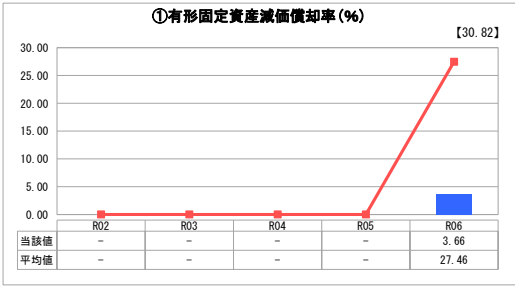
⑦施設利用率は類似団体平均値より高く推移しており引き続き動向を注視します。

⑧水洗化率は類似団体平均値を下回りましたが、引き続き接続率向上を検討します。

2. 老朽化の状況について

供用開始から15年以上が経過し、管渠の老朽度は比較的低い状況ですが徐々に施設の老朽化は進んでいる状況にあると考えられます。効率的な施設更新に向けた計画を策定し、更新率が高く健全なライフラインの構築を目指し改良・改修を進めていく必要があります。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和6年度は法適用初年度であるため前年比較が不可能です。

引き続き施設利用率、水洗化率の向上に向けた加入推進の取り組みにより接続率と料金収入増加を図ることで、一般会計からの補助金を減らすことを目指します。

今後の経営の見通しとして、大規模な建設投資の計画は無く、ストックマネジメント計画による中長期的な施設更新や経営戦略の見直しなどを実施し、安定経営を目指します。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。